

第15回秋田県特別支援学校総合体育大会
第3回専門部会議



日時：平成28年7月26日（火）

専門部会議 9：30～15：00

実技講習会 15：30～16：30

場所：県営陸上競技場 会議室

県営トレーニングセンター

7月26日（火）に県営陸上競技場会議室で第3回専門部会議を開催しました。今回の会議では、総合体育大会の組み合わせ抽選、大会前日から当日までの準備や日程の確認を行いました。

★各校への周知内容

①式典：開始式について

- ・当日は9：00にリハーサルを行う。最初にポスターとキャッチフレーズの表彰をし、その後に優勝杯返還、選手宣誓をするため、関係生徒は集合時間厳守とする。
- ・9：25頃に開始式に参加する生徒の整列完了とする。
- ・リハーサルに間に合わない遠方の学校は、自校理事への連絡を入れること。



②競技：競技実施上の確認、注意事項について

◎綱引

- ・当日、綱を10：05に設置するが、綱を使っての練習は行わない。
- ・綱引競技時に間近で応援してもよいという案があったが、移動の手間を考慮して、従来通りの観戦とする。
- ・競技の内容は例年通りとするが、午後の研修を経て検討していく。その内容は監督会議時に紙面で確認する。

◎バスケットボール

- ・競技について5点変更する。
 - メンバー表にTOの協力の記載が抜けている学校がある。1試合目のTOの協力は、男子が栗田2名、女子が大曲2名。2試合目以降は、女子の競技が終了したチームから3名ずつ出すこと。
 - アップコートは自校のベンチと反対側のコートを使用すること。
 - 3位入賞の学校は、選手もしくは職員が表彰式に必ず参加すること。
 - 職員からの必要以上のクレームはテクニカルファールとする。
 - オーバータイム、トラベリング、ダブルドリブルに関して、レベルの高い生徒にはファールを取っていく。



◎ユニホック

- ・スティックについて、春の段階で事務局が準備したスティックを使用するとしていたため、今年度は全て事務局で準備した物を使用する。
- ・今年度は、昨年度よりも2チーム増えたため、交流戦をせずに3位決定戦までとする。
- ・コートが昨年度16m×20mに対し、今年度は16m×21mに広がった（会場変更による）。

◎ピン倒しボール

- ・競技時間を11：10～14：10と5分早める。ただし、綱引競技が終了次第（アリーナ）とする。
- ・ルールについて、サードサークルから投げてから、2投目に補助具を付けてセカンドサークルから投げることは可能とする。また、小低の力が弱い人であってもサードサークルからとする。
- ・ピン除去者について、コート上にボールを転がして渡すことは違反とする。
- ・競技開始前に、かごの中のボールの数は均等にしてあるが、生徒の実態に応じて各校で調整しても構わないこととする。ただし、滞りが無いような準備で臨むこと。
- ・アリーナは3コートを使用して競技をするため、隣のコートの笛で間違いがおこらないよう、職員間で注意を促していく。
- ・ボランティアの人数が少ないため、生徒に付かない職員は最後にボールを集めてから退場する。
- ・支援者、球拾い、除去者を合わせ最大8名と記載されているが、車いすへの支援者は最大13名まで可能となる。基本は、生徒1名につき支援者1名までとなっているが、配慮の必要な生徒には支援者を2名までとしてもよい。

(きらり会場)

- ・監督者会議は9：40集合とするが、間に合わない人には専門部から書面などで伝える。
- ・アリーナ会場での結果が決定する前に暫定で行うことができないため、きらり会場での仮の表彰式は行わない。

◎フライングディスク

- ・移動介助者の右腕に赤いはちまきを付ける。
- ・プレイエリアに生徒が入ったら、助言はしない。

◎サッカー

- ・監督者会議は11：10集合とする。綱引競技が遅くなっても、監督者会議出席者は集合時刻に遅れない。
- ・今年度から各校へ副審の協力を依頼する。1試合目は栗田、大曲からとし、2試合目以降は勝敗によって変わるため臨機応変に対応する。
- ・暑さ対策について、水分や体を冷やすもの、雨天時の合羽や着替えの準備は、各校で行うこと。



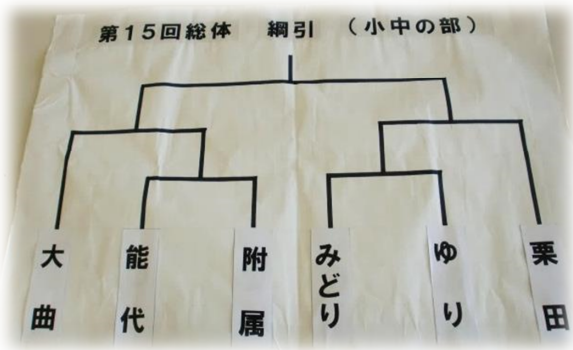
◎グラウンドゴルフ

- ・小中の参加校が増えたため、少ない人数のチームが合同で行うこととする。聴覚支援学校のA・B、大曲支援学校とせんぼく校、稲川支援学校と能代支援学校を合同とする。
- ・スコアシートについて、記載ミスや、今年度は高等部が10ホールにコースが増えたこともあり、シートを事前に配付するので、各校で事前に記入の練習をすること。
- ・会場は人工芝のため、水分補給は水のみとなる。
- ・ビブスを着用してもらおうが、校名が入っていない学校は、ガムテープなどを貼って分かるようにすること。

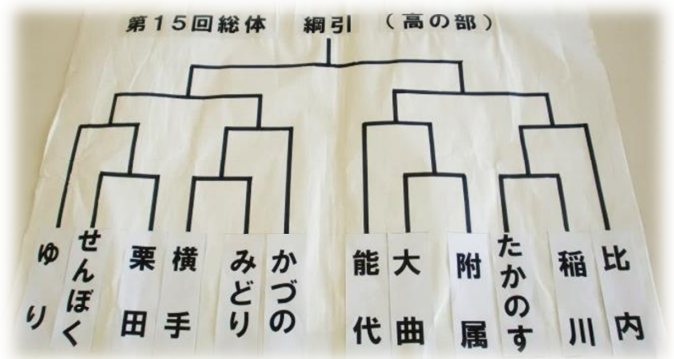
※写真NGの児童生徒は、各競技のユニホームの色が違うため統一はしないが、各自で目立つような色のテープやリボンをつけること。

★各競技の組み合わせ

綱引 (小中の部) 前年度優勝「大曲」



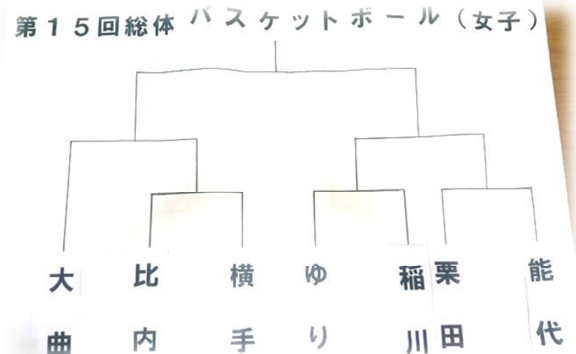
綱引 (高の部) 前年度優勝「ゆり」



バスケットボール (男子) 前年度優勝「栗田」

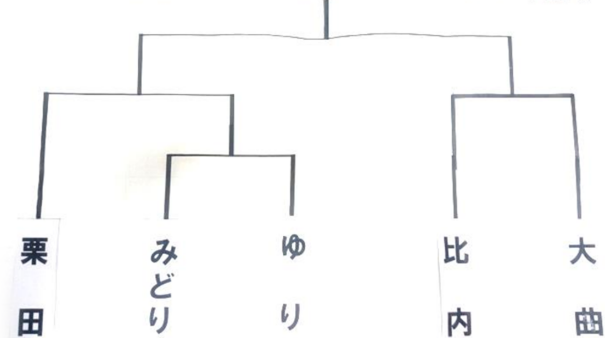


バスケットボール (女子) 前年度優勝「大曲」

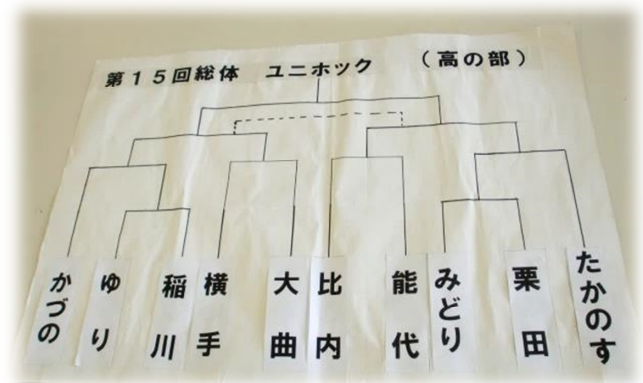


ユニホック (小中の部) 前年度優勝「栗田」

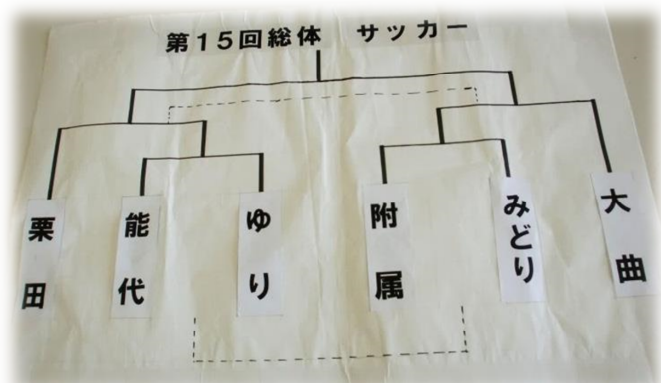
第15回総体 ユニホック (小中の部)



ユニホック (高の部) 前年度優勝「かつの」



サッカー 前年度優勝「栗田」



実技講習会

～綱引競技、ユニホック競技～

専門部会議終了後、県営トレーニングセンターで実技研修を実施しました。

ユニホック協会、県綱引連盟の方に講師として指導いただき、競技の基本ルールや反則行為について、講義と実技で研修を深めました。2つの競技に計36名の先生が参加し、生徒の指導に生かそうとする熱意が伝わってきました。

綱引|競技



ルール解説



綱を引く基本姿勢



いざ実践！！

綱引競技の反則について

- ・お尻を床に着く行為、体を上下に屈伸させて引く行為などは反則にあたるそうです。日ごろの練習の中で反則行為を指導いただき、今年の大会では例年以上に競技レベルの高い試合が繰り広げられることを期待しています。

ユニホック 競技



スティック操作の演示



基礎練習の実技



まともは試合形式で